

「日赤図書館雑誌」投稿規定

- I. 本誌は病院図書館および医学関連情報に関する記事を掲載する。
- II. 本誌に掲載された論文の著作権は、日赤図書室協議会に帰属する。
- III. 原稿は横書きにし、原則としてパソコンまたはワープロを使用する。
- IV. 用紙はB5判を使用し、1ページ20字×20行とする。
- V. 原稿には、論題、所属機関名、著者名（ふりがな）、E-Mailアドレス（掲載可能な場合）、本文、和文抄録（300字以内）、Key Words（5語以内）、文献を記入する。

VII. 原稿様式

1. 文字の規定
 - ・数字・欧文は半角文字を使用する。
 - ・年号は西暦を使用する。
 - ・半角カタカナ文字は使用しない。

2. 見出しの規定：各項目の見出しへは、次の順に用いる。

I. II. . . .
1. 2. . . .
(1)(2) . . .
(1)(2) . . .

3. 図表は本文中に貼付せず、一枚ずつB5用紙に貼付する。

VIII. 参考文献：バンクーバースタイル（Vancouver Style）を用いる。

1. 雑誌：著者は3名以上は「他」「et al.」を使用。雑誌名は、欧文雑誌名はList of Journals Indexed for MEDLINEの省略名に準拠し、和雑誌名は省略しない。

1) 石川聰子、鈴木ゆかり、岡 有美他：心肺停止後の低酸素性脳症患者の脳波所見の検討.静岡赤十字病院研究報 1998; 18(1): 43-49.

2. 単行本：著者名、論文名、編者名、書名、版、出版地：出版社；年、頁。

1) 浜口恵子. 医学用語の構造. わかる医学用語. 京都：近畿病院図書室協議会；2000.p. 3-5.

3. 電子文献：著者名、論題、[引用日]、URL

1) 東邦大学医学部図書館. PubMedの使い方. [引用 2001.3.22].
<http://www.med.toho-u.ac.jp/library/pubmed/index.htm>

IX. 原稿は、コンピュータを使用した場合、プリントアウトしたものとフロッピーディスクの両方を提出するものとする。

- IX. 投稿された原稿、フロッピーディスクは原則として返却しないので、返却希望者は事前に申し出る。

X. 投稿先・問い合わせ先

〒 420-0853 静岡県静岡市葵区追手町 8-2
静岡赤十字病院図書室
TEL 054 (254) 4311 (内線 2931) FAX 054 (272) 6983

編集後記

◆ある日、図書委員長から「雑誌はなくなるのか?」という質問がありました。ぱらぱらと手にとって読むプリント版は無くなってしまうのか? とりあえず、「無くなりません!」と返事。でも、どちらが利用者にとって最適なのでしょう? 将来、プリント版ジャーナルは、冥王星の運命をたどるのか。。。その質問が、今号の特集に採用されたわけですが、著者の方々に大変難しい題目をお願いしてしまいました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。黄色いカードで「賛成」「反対」と、明確な答えは難しいようです。 (静岡 天野)



◆前回に引き続き、天野さんと一緒に研修と編集の二役を務めさせていただきました。何かをつくり上げるという作業は集中力を要すると、実感しました。なかなか経験できることなので、この喜・苦・楽を多くの方に味わってもらいたいです。新しい力の参加をお待ちしています。

最後になりましたが、すばらしい著者に恵まれ、また、多くの企業・機関から広告協賛を頂きましたことに心から感謝いたします。 (和歌山 鳥渕)



◆今回の特集号はいかがだったでしょうか?『雑誌の行方』もさることながら『司書の行方』も気になるところです。絶滅職種(!)にならないようにしたいものですね。最後に関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

(前橋 塚越)



日赤図書館雑誌

第13巻 第1号 (通巻18号) 平成18年10月1日 (年1回)

編集委員長 天野いづみ (静岡赤十字病院図書室)
副編集委員長 鳥渕早希子 (日赤和歌山医療センター図書室)
編集委員 塚越 貴子 (前橋赤十字病院図書室)
印刷所 株式会社静岡システムテクノロジー
事務局 高山赤十字病院図書室
〒506-8550 岐阜県高山市天満町3丁目11
TEL 0577-32-1111 FAX 0577-32-6802
年会費 個人・機関: ¥4,500 定価: 一部¥1,000